

サステナビリティ学専攻

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了要件

課程修了には、2年以上在学し、以下の修了所要単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文（または政策研究論文）の審査および最終試験に合格しなければなりません。

(2) 修了所要単位

サステナビリティ学専攻修士課程の修了所要単位は、36単位（政策研究論文をもって修士論文に代える場合は40単位）です。研究科共通科目8単位、専攻専門科目8単位、および必修科目の研究指導科目8単位を含めた上で、自専攻科目から合計26単位以上修得する必要があります。他専攻科目の履修単位制限は行わず、修了所要単位に含めることができます。

科目区分	履修区分	修了所要単位	
研究科共通科目	選択必修	8単位以上	自専攻科目から26単位以上
専攻専門科目	選択必修	8単位以上	
研究指導科目	必修	8単位	
他専攻科目		単位数制限なし	
合計		36単位（政策研究論文の場合は40単位以上）	

(3) カリキュラムおよび履修上の指示

研究科共通科目

科目区分	授業科目（ ）内は履修上の指示等	単位
共通科目 (理論・研究基礎)	行政学基礎	2
	比較行政研究	2
	公共哲学基礎	2
	政策学基礎	2
	現代政治分析研究	2
	公共政策とジャーナリズム	2
	公共政策の社会理論	2
	財政学基礎	2
	経済学基礎	2
	環境哲学・倫理学	2
	環境法基礎	2
	地球環境学基礎	2
	国際政治学基礎	2
	国際協力論	2
	サステナビリティ研究入門A・B	各2

科目区分	授業科目（ ）内は履修上の指示等	単位
共通科目 (方法論・分析技法)	政策法務論	2
	立法学研究	2
	政策評価論	2
	社会調査法1～8	各2
	政策分析評価技法	2
	市民参加の理論と実践（隔年開講）	2
	数理モデル概論（隔年開講）	2
	地域コンサルティング論	2
	ファシリテーション演習	2
	政策研究概論（外国語）	2
公共政策論文技法1・2	各2	

サステイナビリティ学専攻専門科目

科目系統	授業科目（ ）内は履修上の指示等	単位
法律・行政系科目	環境行政法（隔年開講）	2
	環境私法	2
	環境政策法務と条例	2
	国際環境法	2
	地球環境政治論	2
	国際機構論	2
	外交政策論	2
	環境ガバナンスⅡ（隔年開講）	2
	環境社会論（隔年開講）	2
地域・社会系科目	地域環境文化研究	2
	地域環境史研究	2
	地域環境フィールドスタディ	2
	サステイナブル地域政策研究（隔年開講）	2
	地域環境計画研究（隔年開講）	2
	サステイナビリティ学事例研究Ⅰ（隔年開講）	2
	環境ガバナンスⅠ（隔年開講）	2
	環境経営論	2
経済・経営系科目	サステイナビリティ・レポート	2
	環境経済論	2
	サステイナブル経営論	2
	環境と知的財産権	2
	サステイナビリティ・コミュニケーション論	2
	環境ガバナンスⅢ（隔年開講）	2

科目系統	授業科目（ ）内は履修上の指示等	単位
国際協力系科目	開発経済論	2
	国際環境協力論	2
	社会開発論（隔年開講）	2
	国際協力フィールドスタディ	2
	国際 NGO・NPO 論（隔年開講）	2
	ヒューマン・エコロジー	2
	国際開発政策研究（隔年開講）	2
	社会起業家論（隔年開講）	2
	国際環境政策の社会学	2
	環境科学系科目	環境工学の基礎
環境資源・エネルギー政策論		2
公衆衛生研究		2
自然環境共生研究		2
大気人間環境論		2
自然災害と防災（隔年開講）		2
地球環境生態学（隔年開講）		2
サステイナビリティ学事例研究Ⅱ（隔年開講）		2
サステイナビリティ学事例研究Ⅲ（隔年開講）		2

研究指導科目

授業科目	単位	履修上の指示
論文研究指導 1 A	2	1 年春学期
論文研究指導 1 B	2	1 年秋学期
論文研究指導 2 A	2	2 年春学期
論文研究指導 2 B	2	2 年秋学期

(4) 中間報告会について

中間報告会は、修士課程を修了するための要件になりますので、発表は全員必須です。開催日は、修士 1 年次は 1 月末または 2 月初めの土曜日、修士 2 年次は 7 月末または 8 月初めの土曜日を予定しています。ただし、修士を 1 年で修了する場合は、修士 2 年の報告会に出席し発表してください。1 年半で修士を修了（9 月修了）する場合も、必ず修士 1 年および修士 2 年の報告会で発表してください。長期履修生についても、論文指導科目を履修している場合は中間報告を行ってください。修士論文を提出する年度には、必ず論文指導の科目を履修し中間報告を行ってください。やむを得ない事情で中間報告会に欠席する場合は、必ず事前に指導教員に相談してください。

(5) 専門社会調査士資格

公共政策研究科では、社会学研究科と共同で、「一般社団法人 社会調査協会（旧社会調査士資格認定機構）（<http://jasr.or.jp/>）」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。資格対応科目は「社会調査法1～8」です。細かい履修計画の立て方などは、担当教員（三井さよ先生 s-mitsui@hosei.ac.jp）まで直接お問い合わせください。

(6) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」を提出してください。その書類をもとに経理課より学費差額分追加徴収の納付書が送付されますので、届き次第すぐに振込みをお願いいたします。

なお、申請書提出後は再度長期履修制度に戻ることはできません。履修計画の変更についてはよくご検討の上、決定するようにしてください。

(7) 指導教員の変更について（重要）

指導教員を変更される場合は、事務課に必ず「指導教員承認届・変更届」を提出してください。

新入生が出願時に希望した指導教員とは別の指導教員を希望する場合は、受入れ先の教員の許可を得た上で、4月21日までに「指導教員承認届・変更届」を提出してください。

2. 授業科目担当者一覧

授業科目	分野	担当教員名	単位	備考
行政学基礎	共通科目(理論・研究基礎)	申 龍 徹	2	政治「行政学研究」、公共、連帯社会と合同
比較行政研究		申 龍 徹	2	公共と合同
公共哲学基礎		名和田 是 彦	2	政治「公共哲学研究1」、公共と合同
政策学基礎		測 元 初 姫	2	政治「公共政策研究1」、公共、連帯社会と合同
現代政治分析研究		白 鳥 浩	2	公共と合同
公共政策とジャーナリズム		白 鳥 浩・ 読売新聞社講師	2	公共と合同
公共政策の社会理論		池 田 寛 二	2	公共と合同
財政学基礎		関 口 浩	2	公共と合同
経済学基礎		芦 谷 典 子	2	公共と合同
環境哲学・倫理学		相 原 博	2	公共と合同
環境法基礎		永野秀雄・横内 恵・ 鈴木詩衣菜	2	公共と合同
地球環境学基礎		藤 倉 良	2	公共と合同
国際政治学基礎		森 聡	2	学部「国際政治学入門」、政治「国際政治の基礎理論1」、国際政治「国際政治理論」、公共と合同
国際協力論		武 貞 稔 彦	2	政治「国際開発政策研究1」、国際政治「国際協力政策研究1」、公共と合同
サステナビリティ研究入門A		岡 松 暁 子・ 渡 邊 誠	2	公共と合同
サステナビリティ研究入門B		岡 松 暁 子・ 渡 邊 誠	2	公共と合同

授業科目	分野	担当教員名	単位	備考	
政策法務論	共通科目(方法論・分析技法)	神 崎 一 郎	2	政治、公共と合同	
立法学研究		神 崎 一 郎	2	政治「立法学研究1」、公共と合同	
政策評価論		南 島 和 久	2	政治「行政理論研究1」、公共と合同	
社会調査法1		小 磯 明	2	公共と合同	
社会調査法2		中 筋 直 哉	2	公共と合同	
社会調査法3		見 田 朱 子	2	公共と合同	
社会調査法4		岩 間 夏 樹	2	公共、連帯社会と合同	
社会調査法5		小 磯 明	2	公共、連帯社会と合同	
社会調査法6		中 筋 直 哉	2	社会「社会調査法」、公共と合同	
社会調査法7		見 田 朱 子	2	公共と合同	
社会調査法8		三 井 さ よ	2	社会「質的資料分析法」、公共と合同	
政策分析評価技法		阿 部 一 知	2	公共と合同	
市民参加の理論と実践		小 島 聡・ 杉 崎 和 久	2	公共と合同	
地域コンサルティング論		佐 谷 和 江	2	公共と合同	
ファシリテーション演習		三田地 真実	2	公共と合同	
政策研究概論(外国語)※韓国語		申 龍 徹	2	公共と合同	
公共政策論文技法1		白鳥 浩・塚崎裕子・ 小磯 明	2	公共と合同	
公共政策論文技法2		渕 元 初 姫	2	公共と合同	
環境経営論		専門科目	金 藤 正 直	2	公共と合同
環境行政法			横 内 恵	2	公共と合同
環境私法	永 野 秀 雄		2	公共と合同	
サステナビリティ・レポートイング	八 木 裕 之		2	公共「環境会計論」と合同	
環境政策法務と条例	朝 賀 広 伸		2	公共と合同	
自然環境共生研究	高 田 雅 之		2	公共と合同	
地域環境史研究	根 崎 光 男		2	公共と合同	
地域環境フィールドスタディ	西城戸誠・長谷川直哉・ 金藤正直・北川徹哉・ 高田雅之		2	公共と合同	
大気人間環境論	北 川 徹 哉		2	公共と合同	
環境工学の基礎	藤 倉 良		2	公共と合同	
環境資源・エネルギー政策論	菊 地 昌 廣		2	公共と合同	
環境経済論	國 則 守 生		2	公共と合同	
サステナブル経営論	長谷川 直 哉		2	公共・連帯社会「CSR論」と合同	
環境と知的財産権	中 里 妃 沙子		2	公共と合同	
サステナビリティ・ コミュニケーション論	川 村 雅 彦		2	公共と合同	
国際環境法	岡 松 暁 子		2	公共と合同	
国際環境協力論	藤 倉 良		2	公共と合同	

授業科目	分野	担当教員名	単位	備考
国際協力フィールドスタディ	専門科目	岡 松 暁 子	2	公共と合同
国際 NGO・NPO 論		小 野 行 雄	2	公共、連帯社会と合同
ヒューマン・エコロジー		高 橋 五 月	2	公共「文化人類学研究」と合同
社会起業家論		吉 田 秀 美	2	公共と合同
地球環境政治論		横 田 匡 紀	2	国際政治、公共と合同
外交政策論		宮 本 悟	2	公共と合同
国際環境政策の社会学		池 田 寛 二	2	公共と合同
サステナビリティ学事例研究 I		辻 英 史	2	
環境ガバナンス I		西城戸 誠	2	
環境ガバナンス II		長 井 正 治	2	
論文研究指導 1 A	研究指導科目	指 導 教 員	2	
論文研究指導 1 B		指 導 教 員	2	
論文研究指導 2 A		指 導 教 員	2	
論文研究指導 2 B		指 導 教 員	2	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2018年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

(1) 修了要件

課程修了には、3年以上在学し、研究指導科目を12単位修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

下記12単位の修得をもって修了所要単位を満たします。

ただし、標準修業年限を超えて在学する学生は年度ごとに「サステナビリティ特殊研究3A・3B」を履修する必要があります。

科目区分	授業科目	単位	履修期	履修上の指示
研究指導科目	サステナビリティ特殊研究1A	2	1年次春学期	必修 計12単位以上
	サステナビリティ特殊研究1B	2	1年次秋学期	
	サステナビリティ特殊研究2A	2	2年次春学期	
	サステナビリティ特殊研究2B	2	2年次秋学期	
	サステナビリティ特殊研究3A	2	3年次春学期	
	サステナビリティ特殊研究3B	2	3年次秋学期	

※ Global Sustainability Program 生も、上記授業科目を履修してください。

(3) 中間報告会について

中間報告会は、博士後期課程を修了するための要件になりますので、発表は全学年、全員必須です。ただし、標準修業年限を超えて在学する学生の発表は任意です。開催時期は、6月および11月の年2回を予定しています。

(4) 修士課程科目の履修について

指導教員の指導のもと、各自の博士論文の研究テーマに関連する修士課程の科目を履修することができます。また、他専攻が設置する科目も含めて、修士課程設置科目は自由に履修することができます。いずれの場合も、修得した単位は、修了所要単位には含まれません。

(5) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、博士論文審査の申請を行う前に大学院課までご相談ください。

また、長期履修途中で退学を希望される場合も事前に大学院課までご相談ください。

2. 授業科目担当者一覧

授業科目	分野	担当教員名	単位	備考
サステナビリティ特殊研究1A	研究指導科目	指導教員	2	
サステナビリティ特殊研究1B		指導教員	2	
サステナビリティ特殊研究2A		指導教員	2	
サステナビリティ特殊研究2B		指導教員	2	
サステナビリティ特殊研究3A		指導教員	2	
サステナビリティ特殊研究3B		指導教員	2	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2018年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>